

かけはし — 小だより

3 23・5・12

とっさの返答でなくとも

校長 大村 亨夫

先日、朝の情報番組を見ていましたら、<座右の銘関連の本が売れている、なぜだ！>という追跡をしていました。ネクタイを締めながら軽く見ていましたので、正確ではないかもしれませんが、理由として挙げられていたのが<今、人々は、励ましの言葉や元気の出る言葉>を探しながら、生きていく指針を求めているのではないかと。ということでした。また、言葉の力が再認識されてきたという分析もありました。確かに今、私たちは、人にどんな言葉をかけたらいいのか考える場面が増えてきました。悲しんでいる人へ、悩んでいる人へ、どんな風にと。その時、座右の銘は、言葉さがしのヒントになるのかも知れません。

また、就職試験の面接でも「あなたの座右の銘を教えてください。」という質問が出されるそうです。答える内容や言葉から、その人の人間性が推し量られるのだそうです。本当でしょうか。

昔の話ですが…。あるタレントが、「あなたの座右の銘は？」と聞かれ、「少し離れています。」と答えていました。それって、左右の目だろ。と笑ったことがあります。(話がそれました。)

さて、今回のお題、とっさの返答。<座右の銘>と同じように<長所・短所>もすぐに答えるのは難しいように思います。長所と短所は裏返しの関係ですし…。面倒見がいいはおせっかい。丁寧な対応

はくどい。等。しかも、自分では、短所ばかりが目につくものです。自分の良いところなど、自分であまり考えないですから。長所・短所を考える作業は、家族や友人に手伝ってもらうのがいいと言われているようです。

第一小学校では、重点目標達成のために、目指す数値を設定しています。その中のひとつに「自分の長所を言える子ども」「子どもの良さが言える大人」を90%にする。というのがあります。12月ごろ、今年度のまとめとして「お子さんの長所は何ですか？」「一小の子どもの良さは何ですか？」の質問があると思います。そこで、お願いします。長所短所両面から、子ども達を見ていて欲しいのです。短所ばかりが目について・・・でもかまいません。なぜなら、短所のない人は、長所もないからです。(長・短・裏表理論)人から言われ、自分をみつめることから自分らしさが発見できます。長所も短所もひっくるめた自分から、自尊感情が生まれてくるのだと、私は考えています。

とっさの返答ではなく、じっくり、ゆっくり子ども達をながめ、話しながら答えを見つける。その過程で親子のコミュニケーションも取れるといいですね。



観察池(ひょうたん池)の水芭蕉

授業参観においでいただき ありがとうございました

去る4月29日、授業参観、PTA総会、学校後援会総会、学級懇談会とせわしい日程にもかかわらず、たくさんの方々においでいただき、ありがとうございました。

授業参観では、たくさんのお家の方々に前子どもたちが熱心にそして元気な学習活動を見せてくれました。

PTA 総会・後援会総会では、活動計画や新役員等が承認され、今年度の活動がスタートしました。また、学年部会でも、PTA 活動方針をもとに、各学年が特色のある学年部会活動を行うことになりました。

< PTA 活動方針 >

テーマ：親と子のかかわりの中で生活リズムを向上させよう。

～早寝・早起き・朝ご飯で明るく健全な家庭を築こう～

- (1) 子供の「こころ」と「からだ」を育てる活動
- (2) 子供の「いのち」を守る活動
- (3) 子供の「知恵」を伸ばす活動
- (4) 子供の「思い」や「行動」を見る(観る)活動



初めての授業参観 頑張った1年生



協力して理科実験する6年生

ゆりの活動

< ゆり園の耕耘 >



5月5日 祖父母の会の高橋勝俊さんにハッピーゆり園の耕耘をしていただきました。

< ゆりの球根の贈呈式 >

5月6日(金) 昨年度、連作障害などでゆりが弱ったため「どんでん平ゆり園」から球根1500個を寄贈していただきました。

大村校長が「感謝の気持ちを持ち、大事に育ててほしい。」とあいさつ。全校生を代表して6年の山口隼人さんが「みんなで協力し、きれいな花を咲かせましょう」と呼びかけました。



ゆりの球根贈呈式

< ゆりの球根の植栽 >

贈呈式の後、早速全校生で1個1個ていねいに球根を植栽しました。

